



大国の興亡 文明の衝突 歴史の終焉

令和7年1月8日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

これら新たな現実、WASP とユダヤにおける新しい世界の模索が、ラングレーとともに存在し、これら新しい未来を有するのである。

世界の現実を正しく考察するとき、真実への理解が唯一正しいのである。

これら大国の興亡と文明の衝突と歴史の終焉は、明らかに未来における現実なのである。

この観点から日本においても自己判断を有することは正しい現実への認識なのである。

これらは新しい未来と世界が存在し、すべての存在は明確に自己選択を強要されることを意味するものである。

これらは明らかに正しい世界の枠組みであり、パックスアメリカナの背後の真実なのである。

これらが正しい世界への理解であるなから、大衆はラングレーの傀儡にすぎない。

これらがメディア CNN において伝えられる世界の現実である。

それらにおいて外交は唯一の選択となるものである。また未来は唯一選択において存在するものであることは正しいはずである。

私において唯一伝えられることは、常に正しい為政を行うことである。それが正しい現実を与えるからである。

これら観点からは経済の崩壊や第3次世界大戦を理解するとき、我々は完全に世界の真実を理解できるのである。

未来を私するものは、彼らが許さないならば、正しい現実への理解を世界に有することができるはずである。